



かんせいちゅうがっこう

寛政中学校だより

だいごう
第11号

令和5年3月17日 横浜市立寛政中学校

～61期生の成長を感じさせる感動的な卒業式～

がっこうちょう もり かつよし
学校長 森 勝義

令和5年3月8日、「令和4年度第61回卒業証書授与式」での式辞として次のように述べました。

「いつも園芸部が手入れしてくれている友情の泉のまわり、春は5本の桜、夏はサルスベリ、秋は金木犀、冬は椿、四季折々の木々が60年もの間、新入生を迎え、卒業生の旅立ちを祝福してくれています。本日は保護者の皆様、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、「第61回卒業証書授与式」を挙行できますことを心から感謝申し上げます。～中略～思えば3年前の入学式直後、国の緊急事態宣言を受け、5月31日まで臨時休校、6月1日からは分散登校でした。2か月以上もの間、君たちのいなかった教室・廊下はひんやりとし、グラウンドは表情がなく、地面が固くなっていました。友だちと遊びたくてもできない、授業を受けられない、部活動ができなくても君たちは不満を言わずにじっと耐えてくれました。しかし最上級生となった年、君たちは劇的に変化しました。私の想像をはるかに超え、強く、たくましく、優しく、大人の雰囲気を持つまでに立派に成長しました。

目を閉じて思い出してください。「ほな、行こか、京都で今日という日を楽しむシカない」というユニークなスローガンのもと、京都奈良への修学旅行、一人ひとりにリスペクトアザーズを感じました。「マジで魂込めて61回目のアオハルを」のスローガン、体育祭では実行委員会、4色のリーダー、サブリーダーを中心に、全身全霊で取り組み、魂のソーラン節、エイサーを見事に披露してくれました。君たちが全力を出し切った勇姿は、深く後輩たちの胸に刻み込まれました。「絆硬め、思い出濃いめ、青春マシマシ、寛政祭一丁あたり」のスローガン、寛政祭では3・4組の「レッツチャレンジ」、学年劇「ムスカの苦悩」第一場面からエンディングまで、音響から照明、衣装、大道具、小道具、キャスト、黒子、ダンサー、それぞれ一人ひとりが、細部にわたり、魂を含め、学年がワンチームになり素晴らしい演劇、ダンスを見せてくれました。それこそ私が君たちに求めていた「リスペクトアザーズ」「ナイストライ」でした。君たちが求めていた「絆」「青春の一コマ」でした。生徒会活動、委員会活動、縦割りでの活動では、最上級生として、質の高い取組と成果を後輩へ与えてくれました。君たちが創りあげてくれたものは寛政中の伝統として引き継がれていくと確信しています。

この3年間、君たちはすべてのことに全力で取り組みました。1組の君たち、1組はいつ行っても元気に挨拶を返してくれ、お互いを支え合う優しい雰囲気を持ったクラスでした。2組の君たち、2組はいつ行っても柔らかな雰囲気自然と穏やかになるクラスでした。3・4組の君たち、3・4組はいつ行っても笑顔が絶えないまるで家族のようなクラスでした。どのクラスでも授業や学級活動でよく聞き、考え尊重し合う姿が見られました。まさしくリスペクトアザーズを貫いてくれました。私もまた、君たちの優しさに触れ、勇気をもらいました。本当にありがとう。3年間、素顔を覆ったままの生活、大声で笑うことも歌うこともはばかられ、かつてない時代を生き抜いた君たち、本当はおしゃべりしながらお弁当を食べたかったことでしょう。体育祭でも大声で力の限り応援したかったでしょう。寛政祭でステージの前に集まり、はじけながら大声で歌ったかったでしょう。スキー教室、修学旅行でもっと何日も友達と過ごしたかったでしょう。残った写真はマスクばかりですが、何物にも代えがたい宝物になったと思います。～中略～日本各地で起きた大震災・自然災害を決して風化させることなく被災された多くの方々から哀悼の意をあらわしてほしいです。君たちは「横浜の宝」「日本の宝」

なんです。ぜひ君たちの力で地域を、日本を盛り上げてほしいです。「リスペクトアザーズ」「ともに生きる」を強く持ってください。

結びになりますが、本日、ご臨席賜りました、ご来賓の皆様、心より感謝申し上げます。保護者の皆様、卒業生をいつくしみ、育んだ、深い愛情と、尊いご労苦に、心から敬意を表します。特にこの3年間は「自分と自分の大切な人の命を守る」ということに心を砕かれた3年だったと推察いたします。感染予防という難しいリスクマネジメントをやり通し、困難に打ち克った3年でした。さっそうと巣立ちゆくお子様に感慨もひとしおのことと拝察し、お祝いを申し上げますとともに、ご入学以来、本校教育の推進に多大なるご理解、ご協力を頂いてまいりましたことに、そして、どんな時でも子どもたちを見守っていただいたことに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。最後に、巣立ちをする君たちへの祝いの言葉を持って私の式辞とします。寛政中学校第61期生の前途に栄光あれ。」



↑ 3-1 堀江級



↑ 3-2 横山級



↑ 卒業生合唱「旅立ちの日に」



↑ 3-3 佐藤級



↑ 1・2年生に見送られる卒業生



つた かんしゃ きも 伝えきれない感謝の気持ちを

そつぎょうせい わか ことば ～卒業生 別れの言葉～

そつぎょうせいでいひょう
卒業生代表

そつぎょうしき わか いちぶ しょうかい
卒業式での「別れのことば」の一部をご紹介します。

ほごしや みなさま まいあき べんとう つく なや
保護者の皆様へ。毎朝お弁当を作ってくれたり、悩みがあるときはいつも
わたし ほかた さんだん の ほんとう かんしゃ きも
私たちの味方になって相談に乗ってくれたり、本当に感謝の気持ちでい
っぱいです。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ここまで
わたし そだ ありがとう
私を育ててくれてありがとうございます。これから私は自分で決めた進路
すす いろいろ なや た ど ととき
に進んでいきます。色々なことに悩み、立ち止まってしまった時にはそっと
せなか おし
背中を押してください。

ちいき みなさま せわ
地域の皆様にもお世話になりました。私たちが安心してこの地域で過
し、がっこうせいかつ おく とうこうじかん あたた みまも
し、学校生活を送れるように、登校時間をはじめ、温かく見守っていただ
きました。このような支えがあって、わたしの今があることに感謝いたします。

そして ざいこうせい みな たいいくさい かんせいさい いっしょ も あ
そして在校生の皆さんへ。体育祭や寛政祭と一緒に盛り上がってくれたからこそ、最高の思い出になりました
らいねん おお も あ きたい ぶかつどう さんねんせい ささ
。来年も大いに盛り上げてくれることを期待しています。部活動などでも三年生を支えてくれて本当にありがと
う。

さいご さんねんせい みんな わたし みんな いっしょ がっこうせいかつ おく ほんとう しあわ いっしょ わら あ おこ
最後に三年生の皆へ。私は皆と一緒に学校生活を送って本当に幸せでした。一緒に笑い合ったり、怒った
り、泣いたりする日々が今日で最後だと思いと、とても悲しいです。あつという間の三年間、本当に楽しかった
ね。もっと皆と一緒にいたいし、これから皆と離ればなれになるのはとても辛い。けれど、皆と過ごした日々
を宝物にし、まえを向いて精一杯頑張ります。今まで本当に本当にありがとう。

かんせいちゅうがっこう まな え けつ わす わたし みらい つた かんしゃ きも
寛政中学校で学び得たものを決して忘れず、私たちは未来へはばたきます。伝えきれない感謝の気持ちをも
って別れの言葉といたします。



1 別れの言葉をのべる さん

そうりつ しゅうねんきねんしょくじゅしき 創立60周年記念植樹式

しゅうねんぎょうじたんとう ふくこうちやう なかい ひろゆき
周年行事担当 副校長 中井 博之



さ 2月22日(水)に、かんせいちゅうがっこうそうりつ しゅうねんきねんじぎょう いっかん
植樹を行いました。正門入って右側には、かつて多くの卒業生、新入生を祝
ってくれた桜の木が枯れてしまった根っこが残っていましたが、掘り起こし
てもらい、その跡地にニワザクラを植えました。まだ小さいですが、未来の
かんちゅうせい はな さき み せよ たい たい
寛中生にどんな花を咲かせて見せてくれるのか、今から楽しみです。さらに、
そのすぐ近くにウメ、グランド側にレモンも同時に植えました。

しよくじゅしき ひかくてきおお み ぼ つか おこな しん きゅうせいとかいやくいん
植樹式は比較的大きく見栄えのするウメを使って行い、新・旧生徒会役員
に代表して出席してもらいました。全員で「土かけの儀」を、新・旧生徒
かいちやう みず ぎ おこな せいとかいはいちやう もくろく よ あ だい かい
会長で「水かけの儀」を行い、生徒会会長が目録を読み上げ第61回
そつぎょうせい おく もの とうじつ ぎしき と おこな
卒業生からの贈り物とすることができました。当日、儀式を執り行ってくれ
た生徒会役員たちには、きゅうやくいん いま がっこう せ かつどう かい
た生徒会役員たちには、旧役員には今まで学校を背負って活動してきた威厳
が、新役員にはこれからの学校を引き継いでいく覚悟が見られました。ここ
にいなかった他の3年生、1、2年生も同じ気持ちでいるんだろうな、と想像した小春日和の一日となりました。



感謝の気持ちを込めて

～3年生を送る会～

3年生を送る会担当 高井 真依

卒業式の前日の3月7日（火）に「3年生を送る会」が行われました。生徒会本部が中心となり、司会進行やオープニングセレモニーなど、会の運営を行いました。

オープニングセレモニーでは、生徒会役員が「お金と愛、どちらが大事か」をテーマにした劇を披露し、3年生への感謝のメッセージを伝えるとともに、たくさんの笑いが起こる和やかな雰囲気の中で、3年生を送る会が始まりました。

続いて、1年生が映像とダンスで感謝のメッセージを伝えました。映像の中で学校中から探したメッセージとともに、学年全員の息がそろったダンスを3年生の前で踊りました。1年生らしい明るく元気な発表でした。

2年生は、映像とメッセージカードで3年生に感謝の気持ちを伝えました。映像では1人1人がメッセージを持ち、言葉を紡いでいく3年生への感謝の気持ちが溢れるものでした。メッセージカードは「THANKS」の形に飾られており、卒業式当日にも体育館の前に掲示して門出を祝いました。

前半のおわりに、部活動からのメッセージビデオの発表がありました。部活ごとに個性のある発表に3年生たちの笑顔が溢れました。

後半は、3年生の音楽部によるOfficial髭男dismの「115万キロのフィルム」と、WANIMAの「ともに」の2曲の演奏があり、曲に合わせて手を振ったり拍手をしたりして会場が盛り上がりしました。

最後に、3年生代表のさんから1・2年生への温かいメッセージが最後に読まれ、感動的な雰囲気に包まれました。

1・2年生は3年生と最後の思い出を作ることができ、3年生も寛政中での最後の楽しい行事として思い出に残ったことと思います。寛政中の上級生、下級生の絆の強さをあらためて感じる温かい会でした。



↑オープニングを盛り上げる生徒会本部役員の生徒たち



↑1年生によるダンス♪



↑2年生によるメッセージ

4月のおもな行事予定

4 / 7 (金) 始業式・着任式・入学式
 /10 (月) 離任式
 /12 (水) 新入生歓迎会
 /14 (金) 保護者懇談会・授業参観

/18 (火) 3年全国学状 (国・数・英・生)
 /20 (木) 3年全国学状 (英：話すこと)
 /24 (月) ～28 (金) 家庭訪問
 /27 (木) 市学力・学習状況調査